

- 1 「予言書」「默示録」として書くべきだが、恐ろしいいので小説の形で書かせてもらった。
- 2 過去に何度もあった。賢者ラ・ムーは「与えることを忘れた時ムーは沈没する」と警告してた。
- 3 目覚めが遅いので、「富士山の噴火」「東京大地震」はもう時間の問題で来るだろう。神は何度も救いの手(選挙など)を差し伸べてきたが、最期は文明が持たない、責任は人類に。
- 4 イエスの時代もローマは「イエスを救う案」を提示したのに「イエスを殺せ」を選択。
- 5 初版本での米国西海岸沈没などを隠してきたが、35年以上経って再度出てきた。限界?
- 6 HSの活躍は何も反映されていない件、弟子はよく考えてほしい。活動が二桁三桁少ない。
- 7 初期の1991年までに「心改めよ」「生き方を変えよ」「人生観を変えよ」と警告してきた。36年経ってその成績表が「本書」である。ノアの箱舟に近い話。アララト山中腹4km地点で、箱舟発見と報道。真偽不明。マントル内に海水の5倍の水が存在する(東工大) 平均深さ3800m
- 8 梅の民主主義には虎のような普遍的な神への信仰心がない、「パンとサーラス」だ。このまま、武器供与(ハイマース)を継続すれば世界大戦の危機が来る。その手前まで来ている。
- 9 Africa、中南米が非米になるのは「嘘で滅ぼされた過去があるから、米を信用しない。梅の政策こそが分離主義で、虎の「米第一主義」は違う。(溺れかかった米国をまず救う、その後世界に責任を持つ主義。日本の天照主義と同じ主義、太陽を管理する日本が他国に光を届ける使命有)
- 10 北朝鮮、中国、露国へは、個別対応するべきなのに、同時対応(三正面)になっている。岸田はG7の一員として金魚の糞作戦で良いと思っている、そこまでの認識がなかった。虎主導の中国包囲網に同調せよとの救世主の助言を無視した。DSの悪行が隠蔽された米信仰。
- 11 マスコミの頭が悪すぎる。プーチンは宇を同胞と見て手加減しているのが分からない。本当はいつでも宇を滅ぼせる力を持っている。サボリージャ原発も宇が攻撃しているのが、見えてない。
- 12 一歩も引かない愚かな大統領を選んだウクライナ哀れ。今のままなら国がなくなる可能性が高い。彼の手口で乗せられた関連国家の愚かさを感じる。現実は核戦争の手前まで来てる。小説は「本気で打ち合ったら、ここまで行く」と教えている。警告を無視したムー時代の再現か!
- 13 紫央:梅は副大統領時代にマイダン革命で宇の親露派大統領打倒を仕切った、と毎日が報道。先生:先の冷戦は「ソ連とその衛星国 vs アメリカの自由主義のチーム」だったから、神を信じる民主主義国側を勝たせる必要があった。今度は「神を信じる国 vs そうでないの図式」になるべきだったが、そうなっていいない。中共崩壊に逆行動を取った日本政府の責任重大。
- 14 マスコミが「虎は無知で非科学的、梅のほうが科学的」と見てるし、本当のPutinはロシア正教の信仰があり、神に祈っているのに独裁者扱い、この辺の悪見から世論が交錯している。(ヤイドロン)虎もPutinも宇宙存在者に親和的で、光側の存在。HS信者は交錯がなく幸運。
- 15 小説で描いた米国の悪夢は、女性副大統領の就任。「永久革命」的な民主主義政治に誤解がある。徳ある人が治めるのなら任期が長い方が良いはず。良い政治家なら空気と同じ。
- 16 虎氏の中国包囲網はコロナ攻撃、BLMで破られた。中国は懸命に包囲網を破壊した。
- 17 本小説で政治家に期待は集まっていない。正義感の強い一部の官僚、警察官などの活躍。
- 18 主流の新聞TVでさえゴミ情報の山、個人で流す情報もゴミの山。米国でも五毛党的募集。
- 19 コロナ返還の祈りは効いている。ミサイルUターンしなくとも、白頭山噴火は可能かも、実験しないと不明。北朝鮮へのブラフの意。宇宙人介入の条件は世界戦争になる場合。
- 20 御利益信仰的でない怖い神も居ることを知れ。ネバタ砂漠には赤色人種の文明があった。
- 21 本書の目的「神と信仰を取り戻せ」弟子は、「HSの活動が触れられない理由を考えよ」